

# 第1学年道徳指導案

日 時 平成16年6月29日(火) 4校時  
学 級 1年(男子15名 女子11名 計26名)  
指導者 教諭 野崎 朱実

- I 主題名 「健康な生活」 指導項目1-(1) 望ましい生活習慣、健康、節度  
資料名 「自然教室での出来事」 出典「かけがえのないきみだから」 学研

## II 主題について

### (1) ねらいとする価値について

中学校の指導項目1-(1)は、「心身の健康の素晴らしさやありがたさに気づき、進んで節度と調和のある生活を送ろうとする態度を育てる」となっている。

中学生の時期は、心身ともに著しく発達し、自我に目覚め、自己中心的になりがちである。そのために、気分や体力のおもむくままに行動してしまい、健康を損ねたり、これまで身につけてきた望ましい生活習慣を崩してしまうことが少なくない。

この時期を捉えて、健康であることの素晴らしさや節度と調和のある生活の大切さに気付かせることは重要なことである。心身が健康であることは、意欲的に活動するための基盤であり、またそれを形づくるために、節度と調和のある生活を送ることが、充実した人生をもたらすこととなることに気付かせたいと考え、本主題を設定した。

### (2) ねらいにかかわる生徒の実態について

生徒たちは男女ともに仲が良く、明るく元気に生活している。道徳の時間では、各自が自分の考えや体験談を恥ずかしがらずに発表し合える雰囲気がある。

今年 月に実施した道徳適性検査の結果を見ると、指導項目1-(1)については、A(十分発達)38%、B(おおむね達成)54%、C(発達が不十分)8%という結果が出ている。

中学校生活にはだいぶ慣れてきてはいるものの、家庭での生活は以前より不規則になりがちで、中には疲れをそのまま次の日学校へ持ってきているような生徒たちもいる。そこで本資料の主人公が苦い体験を通して前向きに生活を見直した資料を通して、少しでも自分の生活を振り返り、節度と調和のある生活にしていこうという気持ちを育てていきたいと考える。

### (3) 資料について

主人公の「公一」は、自然教室最後の行事である登山の前夜、いつもの習慣から、正典と夜更かしをしてしまう。体力に自信のあった公一だが、自分の不摂生から登山を途中で断念してしまう。友達の登頂の喜びの声を聞きながら、公一は激しく後悔する。自然教室後、正典とともに早朝トレーニングに励むことで、健康に留意するとともに生活習慣を正していくという内容である。

「公一」の行動(生活)は、中学生にはありがちなものであるため、自分のこととして考えやすい設定である。そんな公一が、登山を通して苦い体験をしたことで、健康であることの素晴らしさと、節度と調和のある生活を送ることが、充実した生き方の基盤であると気付いたところに、本資料のポイントがあると考えられる。いくら体力に自信があっても、いざという時に力を発揮できないことはとても残念なことである。特に前夜の夜更かしだけでなく、公一の毎日の不規則な生活習慣にも問題があったことに気付かせ、校長先生が言っていた「確かな一歩一歩であってこそ、頂上を極めることができる。」という言葉の意味を考えさせることにより、より深くねらいに迫ればと考える。

### Ⅲ 指導の構想

#### (1) 授業の概要

導入では、自分の不摂生から体調を崩した体験談を出し合い、健康な生活について考えたい。

展開では、①スポーツが得意であることから体力には自信があり、登山も頂上まで行けると思っている「公一」。しかし頂上まで登ることができなかった。それはどうしてなのかという問いから、自分の不摂生が原因であることに気付かせたい。

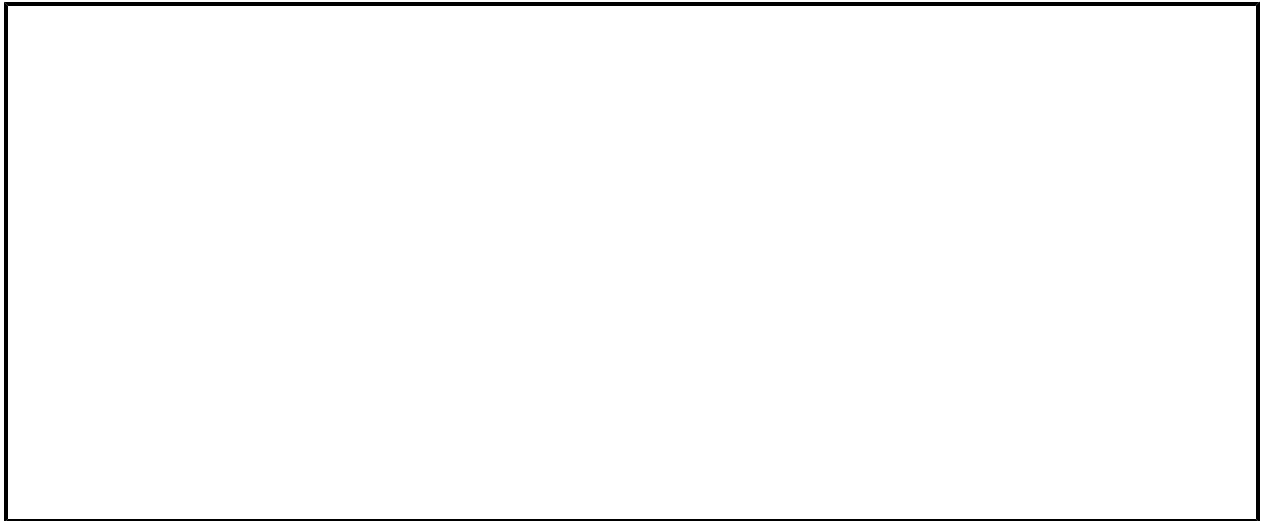
②頂上まで行ってきた同級生たちの会話や満足感にあふれる様子を見た公一の気持ちから、激しく後悔する気持ちをおさえさせたい。③最後に自然教室後、公一の生活行動が変わっていくが、どういう気持ちが公一の生活の意識を変えたのかについて考え、本時の価値にせまりたい。

終末では、授業を通しての感想を書かせ、何人かに発表させる。そして健康的で節度のある生活を送ることが充実した生き方の基盤であることにふれ終わる。

#### (2) 研究仮説とのかかわり

- ① 資料の読み取りの工夫をする。
  - ・朝自習を活用し、事前読みをさせる。
- ② 考えをまとめて書く工夫をする。
  - ・ワークシートを活用する。

### Ⅶ 板書計画



#### IV 本時の展開

##### (1) ねらい

心身の健康の素晴らしさやありがたに気づき、進んで節度と調和のある生活を送ろうとする態度を育てる。

##### (2) 展 開

	主な学習活動	発問・予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 自分の生活について振り返る。	○ 自分の不摂生から体調を崩したような体験はありませんでしたか。	・ 事前に学習シートに書かせておき、その時の自分を思い出させやすくする。
展 開 35分	2 資料を範読する。 3 主人公の気持ちを考える。 4 主人公の心の変容を考える。	○ なぜ、公一は頂上まで登れなかったのだろうか。 ・ 明け方まで起きていたから。 ・ 普段の生活が不規則だったから。  ○ 頂上から戻ってきた友達の会話や様子を見た時、公一はどんな気持ちだっただろうか。 ・ 頂上まで登りたかった、とても悔しい。 ・ 体力には自信があったのに。 ・ 早く寝れば良かった  ☆ 自然教室での体験を通して、公一は何を学んだのだろうか。 ・ 普段から規則正しい生活を心がけることが、大きな成果につながるということ。 ・ 体力に自信があっても、自分の体調管理は自分でしっかりとしなければならないということ。	・ 体力に自信があった公一が、自分の不摂生な行動から、目的を果たせなかったことを押さえる。  ・ 公一が激しく後悔する気持ちをおさえない。  ・ 公一の気持ちの変容を捉えさせる。 ・ プリントに書かせる時間を取り、発表させる。
終末 10分	5 今日の授業を通しての感想を書き、発表する。		・ 校長先生がおっしゃった「確実な一步一步の積み重ね」が、健康的で充実した生き方の基盤につながることにふれたい。

##### (3) 評 価

- ① 公一の体験に自分を重ねて考えることができたか。
- ② 健康の素晴らしさに気づき、節度ある生活を送ろうという気持ちを持てたか。